

No.
154

令和3年6月号

鎌倉市長 松尾 崇の



月刊 温故知新 鎌倉

■ 松尾 崇(まつお たかし/47歳)の履歴 ■

昭和48年鎌倉市生まれ、西鎌倉幼稚園、西鎌倉小学校、鎌倉学園、日本大学、会社勤務を経て、鎌倉市議会議員・神奈川県議会議員を通算約8年間勤め、平成21年より鎌倉市長(現在3期目)。家族は、妻と3人の娘(8歳10歳14歳)。趣味は山登り、ジョギング。座右の銘は『温故知新』

ワクチン接種の予約について

5月17日(月曜日)に行いました新型コロナウイルスワクチン接種の予約において、電話が繋がらない、0時からの予約開始とは非常識だ、など、多くのご意見をいただきました。

5月17日の予約は、予約全体の約8,000人分のうち、0時から約2,000人分をWebとLINEで開始して、残り約6,000人分は、朝9時から電話とWebとLINEで予約開始という形にしましたが、そのことについて、Web予約の「重要なお知らせ」だけの発表となってしまったため、周知不足で、かつ一部だけ0時開始ということで混乱を招く結果となりました。

皆様には大変なご迷惑をお掛けしてしまい、誠に申し訳ございませんでした。また、予約を取ることができなかった皆様には、重ねて心よりお詫び申し上げます。

なお、**80歳以上の方で、まだ予約が取れていない方**には順次、個別に案内ハガキを郵送して対応しております。ハガキの内容をご覧になり、予約の手続きをして下さいますようお願い致します。

65歳～80歳未満の方の次回予約は、電話、Web、LINE 共に、6月17日(木)午前9時から開始いたします。今回は、これまでに予約が取れていない皆様も、予約が取れるのに十分な枠(約25,000人分)があります。また、どうしてもWebやLINEは苦手という方には、6月17日と18日に、市役所本庁舎、各支所、一部の自治町内会館で、市役所職員が予約のお手伝い、代行を行います。場所や時間などの詳細は[広報かまくら6月15日号に掲載](#)いたします。

なお、6月1日現在の**1回目接種率**は全国で約16%、神奈川県では約10%、**鎌倉市は約30%**ですので、決して遅くはないことをご理解下さい。しかし、まだ予約を取れていない方がとても不安であることは承知しております。誠に申し訳ございません。

今後の予定ですが、要望の多い『近所の診療所での個別接種』の開始については、集団接種の実施状況などを踏まえ、医師会と調整を進めて参ります。また、65歳未満の方の予約受付などにつきましてはワクチンの確保の見込みが立ち次第、お知らせいたします。どうぞよろしくお願い致します。

	接種時期 (予定)		接種人数	
第1クール (5月10日・17日予約分)	接種1回 5/16～6/5	接種2回目 6/6～6/26	約20,000人	
第2クール (6月17日予約開始)		接種1回目 6/27～7月中旬	接種2回目 7/18～7月下旬	約25,000人
合計			約45,000人	



松尾たかし

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ブログを更新中!

(討議資料)

新駅の設置と『効果』について

今回の市議会議員選挙で、新駅に賛成か反対か、が1つの論点となりました。私も、「新駅反対」というご意見を直接いただくことがあります。

しかし、それぞれの意見を伺っていますと、誤解されている内容があると感じることもありますので、改めて、新駅について説明させていただきます。

今年の2月に、神奈川県、藤沢市、鎌倉市とJR東日本で、大船駅と藤沢駅間に新たに村岡新駅（仮称）を設置することで合意し、覚書を締結しましたが、その内容は以下のとおりです。

【JR 東日本からの提示】

新駅設置費用は約150億円

新駅設置費の15%を JR 東日本が負担する

【覚書の締結概要】

新駅設置費の費用負担割合は、
神奈川県30%、鎌倉市及び藤沢市 各27.5%
JR 東日本15%とする

【駅への費用負担について】

覚書に、市が27.5%を負担するという事は、市の税金から約41億2500万円も駅に支払うのか？という疑問が生じると思います。

確かに全体の市の負担額は約41億2500万円です。しかし、鎌倉市の場合、深沢のまちづくり（土地区画整理事業費によって生まれる保留地処分金の一部を活用する）から、約37億円を支出しますので、**鎌倉市の税金で直接負担する金額は約4億2500万円です。**そして国庫負担金を活用して、さらにこの負担額は下がる見込みです。

【その他、よくいただく質問にお答えします】

【質問①】 鎌倉市民の多くは、新駅を利用しません。なぜ新駅が必要なのでしょう？税金の無駄づかいではないですか？（右上に続きます⇒）

【回答①】 新駅効果は、乗降客の利便性ということだけではなく、まちの未来の可能性を高めることができることです。また深沢地区の新しいまちが完成することで、**毎年約16億円の税収増**を見込んでいますので、その税収を鎌倉市全体の事業に活用し、その**効果を市全体に反映**することができます。

【質問②】 それでは新しい駅は造らずに、深沢のまちづくりだけ進めればよいのではないのでしょうか？

【回答②】 新駅を造らずに深沢のまちづくりを行った場合の深沢のまちづくり全体の鎌倉市の税金の負担は約**48億円**であるのに対して、駅を造った場合の鎌倉市の税金の負担は、（土地区画整理事業約36億円 + 新駅負担約4億2500万円 + 新橋整備に約7億円）合計で約**47億2500万円**であり、駅をつくった方が少し安い見込みです。また、車（くるま）中心から、人（ひと）中心の、居心地が良く、歩きたくなる街を目指す中で、駅の役割は重要であると考えます。

【質問③】 コロナ禍で大変な時に、税金の使い方として、優先順位が違うのではないのでしょうか？

【回答③】 令和3年度は、新駅に係る費用負担はありません。コロナ対応を最優先で取り組みます。

第200回 大船クリーン大作戦

日時：7月3日（土）午前7時から8時

（原則、毎月第1土曜日に開催。雨天中止。また緊急事態宣言がでている場合は開催しません）

集合場所：JR 大船駅東口 階段下

持ち物：軍手やトング（なければお貸し致します）



◎お知らせ◎

◎この温故知新を、ごみとして捨てる際は『ミックスペーパー』へお願いします。

・『月刊・温故知新』（本紙）を10枚以上配布していただける方を募集しています。

⇒「やってあげても良いよ」という方、ぜひご連絡下さい！

・この『月刊・温故知新』を、お店の片隅やレジ横などに置かせて下さい！

◎定期購読をご希望の方は、無料で郵送しますのでご連絡ください。

◎発行：松尾たかしを応援する会 連絡先：鎌倉市台2-15-3 電話：43-6336

